

平成 22 年度 放送番組審議会 議事録

1. 日 時 : 平成 22 年 12 月 15 日(水)11 時 30 分~12 時 45 分

2. 開 場 : 当 社 会 議 室

3. 出席者

委員 7 名 (委員総数 8 名)

審議員 説田 太郎 氏 審議員 宮本 幸男 氏 審議員 中村 忠夫 氏
審議員 木村 宏守 氏 審議員 坂本 榮 氏 審議員 横山 豊教 氏
審議員 楠 康夫 氏

社内 4 名

社長 大倉 一仁

業務局長 岡田 友利

東関東メディアセンター センター長 横内 智美

東関東メディアセンター マネージャー 坂井 裕

4. 会議次第

岡田業務局長より出席委員をご紹介

井坂委員が急遽ご都合が悪くなり欠席された。ただし、放送法及び有線テレビジョン放送法に定める定足数に達しているため、審議委員会が適法に開催されている旨を宣言した。

① 大倉社長挨拶

② 審議会会長選任 中村忠夫委員が選出され、満場一致で選任された。

③ 事業報告

大倉社長は本放送番組審議会添付の資料に基づき事業報告した。

新規サービス提供エリアの拡大について、TEPCO 電障エリア及び藤沢・東町・宍倉地区等で随時サービスを開始したことを説明。

また、チャンネルの追加・変更等についても説明した(チャンネル番号の変更、「つながるセブン放映開始」、J:COM TV デジタルサービス「3D 放送」の配信開始等)。

その他、トピックスとして、内田恭子さんのTVCMの放送、新サービス「J:COM My Style」、「お得プラン」、「J:COM TV プレミアム」の販売開始について説明。

地域活動としてジェイコムグループで取り組んでいる社会貢献活動「CLEAN UP OUR TOWN」について説明した。

④ 東関東メディアセンターより 2011 年の編成基本方針について

横内東関東メディアセンター長より、添付資料に基づき「2011年ジェイコムチャンネル編成基本方針」について説明した。

- ・ 毎日視聴されるチャンネルを目指す
- ・ ブランディングと加入獲得への貢献
- ・ 効率的な運営体制の確立

⑤ 平成22年自主制作番組の実績

坂井マネージャーより、添付資料に基づき平成22年の自主制作番組の実績について説明した。「夏の全国高校野球選手権茨城大会」「土浦全国花火競技大会」の実況生中継実施などを報告した。

5. 質疑応答

(委員) インターネットとCATVとの関連についてご質問。

→ケーブルテレビは、1本のケーブルで「TV」「NET」「電話」の3つのサービスを提供することができる等、ご説明した。

(委員) 記者会見にジェイコムのテレビカメラが入ったことにより、会見に緊張感が出てきた。結果的にたいへんよい効果が表れてきている。さらに、茨城県議員選挙、市長選挙、議員選挙等の開票速報の実施についてご提案を頂いた。

→今後の研究課題として検討させていただき旨をお伝えした。

(委員) 土浦市議会を含め報道(速報)に力を入れて欲しい、とのご要望をいただくとともに、地域情報を発信する番組(コーナー)等を設け、地域の活性化の一助となるべき等のご意見を頂いた。地域イベントの結果を放映するだけではなく、事前にイベントの告知等もできれば、地域活性化に資するのではないかとのご意見を頂いた。

→貴重なご意見として承るが、他の番組との調整や放映時間の制約等もあるため、検討課題とさせていただきこととした。

(委員) 印刷業界では色覚弱者に配慮してメディアユニバーサルデザインに取り組んでいるが、テレビ放送においてもメディアユニバーサルデザインに試験的にでも取り組んで欲しい、とのご意見を頂いた。

→メディアユニバーサルデザインを大変意義あるものであると認識しているが、印刷物と違い、テレビではそうした技術開発がなされているのか、精査して今後の研究課題としたいと、お伝えした。

(委員) 「チャレンジ!初めてのフルマラソン教室」等の番組に協力できたのは大変有意義であると感じている。今後は各スポーツへの取材を充実し、地域の様々な大会等を応援して欲しいとのご要望をいただいた。

以上